



LF-1/2 リークレス Ag/AgCl 比較電極



- ・ 溶液との接触部分は全て耐薬品性に勝れた樹脂製
- ・ 有機溶媒中のサイクリックボルタンメトリーの参照電極として最適
- ・ 丈夫なので、研究室でも実習の場にも便利
- ・ 低い電極抵抗

《 概要 》

この樹脂製リークレス Ag/AgCl 比較電極は、電気化学の研究分野や実習用として最適です。ET072電極は内部液の漏出が全くありませんので、塩素イオンや銀イオンが検液に混入する恐れがありません。

《 対応性 》

電極の本体は PEEK (polyetheretherketone) 製で、大部分の有機溶媒に高い耐性を示します。この電極は多くのアルコール、ケトン、エーテル、及びテトラヒドロフラン (THF)、ジメチルスルオキシド (DMSO)、アセトニトリル、ジクロロメタンなどのハロゲン化炭化水素にも幅広く使用できます。

《 アプリケーション 》

ET072 比較電極はインピーダンスも低い (10 kΩ 以下) ので、pH電極やイオン選択電極の比較電極として、またはハーフセル電極やボルタンメトリーの作用電極の参照電極として最適です。

《 取り扱い 》

この電極は内部電解液の再充填はできません。製造にはガラスは使用されていません。

使用する溶媒の種類や基質分子、取り扱い方に依って電極は数ヶ月以上は保つはずでず。

有機溶媒を使った時は、電極を水か KCl 溶液に暫く浸し 'rest' させてください。

電極が古くなると電位のドリフトが起こります。このような場合は、2本電極法 (補助電極として金属ワイヤーを使う) で電極を KCl 溶液に浸けて 10~15 秒ほど高い酸化電圧 (+4V) を掛け、30 秒ほど放置して安定化させると復活することがあります。

電極表面に吸着する物質は、細かいサンドペーパー (または研磨剤) で表面を注意しながら軽く磨いてください。30秒ほど強酸 (例えば、6mol/L H₂SO₄) に浸けてから超音波洗浄し、必要ならこれを繰り返すことでも同様の効果が得られます。

《 仕様 》

型式:	LF-1	LF-2
長さ:	100 mm	65 mm
外径:	1 mm	2 mm
コネクタ:	1 mm ピン	
本体の材質:	PEEK (ポリエーテルエーテルケトン)	
使用温度:	ボディ < 80° C ヘッド < 50° C	
内部電解液:	3.4 mol/L KCl	
インピーダンス:	< 10 kΩ	
eDAQ 社は、上記の仕様を予告なく変更する権利を留保します。		

www.eDAQ.jp

E-mail: info@edaq.jp

e-corder® と isoPod™ は eDAQ 社の登録商標です。それ以外は、それぞれの所有者の商標です。PT5/09



バイオリサーチセンター株式会社 eDAQ事業部
〒461-0001 名古屋市東区泉2-28-24 Tel:052-932-6421